

先日は「てがたん」にご参加いただき、ありがとうございました。「てがたん」の観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧下さい。次回9月の「てがたん」は9月12日(土)で「秋の虫」がテーマです。是非ご参加下さい。

\*市民スタッフの方へ 次回「てがたん」の下見&打ち合わせは9月5日(土)9時30分からです。  
よろしく願いいたします。

## 8月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館(多目的ホールで釣り竿づくり)→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2015年8月8日(土)10:00~12:00 /曇り時々晴れ
- 参加人数 36名(一般20人、子ども16人)
- 市民スタッフ 8名(石原直子、岡廣志、木村稔、寒江洋次、弘貴さと子、松村定雄、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 1名(染谷実紀)

## 観察記録 — 8月に観察した生き物リスト—

### 【鳥類】

カモ科：カルガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/クイナ科：オオバン/カラス科：ハシブトガラス/シジュウカラ科：シジュウカラ/ツバメ科：ツバメ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/  
外来種や家禽：コブハクチョウ、ドバト

### 【魚類】

コイ科：モツゴ、タモロコ、タイリクバラタナゴ、ワタカ/ハゼ科：ヨシノボリの仲間

【両生類】 アマガエル科：ニホンアマガエル/アカガエル科：ウシガエル(鳴き声)

【甲殻類】 テナガエビ科：スジエビ

### 【昆虫・クモ】

甲虫の仲間：ハイロゲンゴロウ/トンボの仲間：ウチワヤンマ、ウスバキトンボ、チョウトンボ、シオカラトンボ、コシアキトンボ/  
カメムシの仲間：アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ヒグラシ/ハチ・アリの仲間：イラガセイボウ/クモの仲間：  
ジョロウグモ、ゴミグモ

### 【花】

アヤメ科：ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ/ツユクサ科：ツユクサ/アカネ科：ヘクソカズラ/カタバミ科：カタバミ/イネ科：メヒシバ、  
エノコログサ/カヤツリグサ科：ヤマイ/ブドウ科：ヤブガラシ/ガマ科：ガマ、ヒメガマ/マメ科：シロツメクサ、ムラサキツメクサ/  
キョウチクトウ科：キョウチクトウ

# 8月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「手賀沼の魚」でした。  
博物館で釣り竿をつくり、自分の竿で魚釣りをしました。大きな魚を釣り上げた方もいました。仕掛けた「もんどり」にも魚がかかっていました。  
暑い中ご参加いただきありがとうございました。



今月の案内人：岡 廣志さん 保田 行弘さん



① 暑い時期（6～9月）に咲くツククサ



② 親水広場の沼に近いところ一面に生えていたヤマイ



③ 手賀沼で釣りをする皆さんてがたんで初めて釣りに挑戦



④ 18 cm位のワタカ  
自然分布は琵琶湖・淀川水系移入により手賀沼にも生息



⑤ 体の色を変えるのが得意なニホンアマガエル



釣りを始めたところ、2羽のオオバンが近づいて来ました。釣りをしながら野鳥観察ができました。



8月てがたんの観察生物とルート



朝、仕掛けておいた「もんどり」をみんなで引き上げてみると、数種類の魚が入っていました。（右下写真はタイリクバラタナゴ）



⑥ 今年生まれのコバク  
チョウ成鳥に比べてまだ小さい



⑦ イラガの繭に産卵することで知られるイラガセイボウ



⑧ 「クチボソ」の名前でも親しまれているモツゴ  
上向きの口が特徴



⑨ 仕掛けに入っていたヨシノボリの仲間  
顔の赤い線が特徴



⑩ 斜面におりたシオカラトンボ  
コフキトンボに似ている

## 今月の鳥 カワセミ (ブッポウソウ目カワセミ科)

カワセミは、留鳥または漂鳥として本州以南に分布し、北海道では夏鳥です。手賀沼周辺でもよく見かけます。都市化の影響により、1960年頃から生息地や生息数が減少しましたが、1980年代から数が回復して、今では身近な鳥になりました。きれいなコバルトブルーが特徴で、その姿をカメラに収めようと、待ち構えているカメラマンの姿もよく見かけます。

雌雄ほぼ同色ですが、下の嘴が黒いのがオスで赤いのはメスです。餌は主に魚で、ザリガニ、エビ、カエルなども捕食します。消化しきれないものは、ペリットとして吐き出します。水辺の杭や枝に止まったり、水面上でホバリングをしながら餌をとります。

繁殖期は3月から8月で、一夫一妻で繁殖します。3月上旬からオス同士のなわばり争いが行われ、4月上旬には雌雄の間で求愛給餌や交尾が観察されます。巣は土の崖壁に、くちばしやあしを使って、50cmから100cm位の横穴を掘ります。



カワセミ(オス)